

～（仮称）歴史情報・公文書館施設整備事業費～



- 本市の豊かな歴史・文化遺産及び震災、水害などの災害記録等を適切に継承するための拠点施設の整備
- 施設建設に伴う集客性の向上に対応するため立体駐車場を整備

令和2年度当初予算の内訳 144,701千円

・委託料	基本設計及び実施設計（施設、駐車場等） 展示設計	
・その他	測量、地盤調査 旅費等	計 144,169千円 計 532千円

財 源

・国 費（都市構造再編集中支援事業）	51,649千円（対象経費の1/2）
・地方債（社会教育施設整備事業債）	46,400千円（充当率90%）
・繰入金（震災復興基金繰入金）	46,652千円



基本計画(案)における施設概要

《施設の規模》

・想定面積 3,100㎡程度

《施設の構成》

・展示スペース	考古資料、通史・災害史	(600㎡程度)
・交流スペース	多目的ルーム、子どもの遊び場	(1,300㎡程度)
・保存スペース	収蔵室、整理室	(1,200㎡程度)

《駐車場概要》

- ・中央図書館北側の駐車場を立体化
- ・駐車台数（中央図書館西側、北側駐車場）
319台→400台程度

整備スケジュール

パブリックコメント
2020.2.12～3.12

